株式会社INAX

本　　社	☎0569-35-2700	札幌支社	☎011-271-1701	東北支社	☎022-263-1710
東京支社	☎03-5541-7111	西東京支社	☎0425-27-3341	横浜支社	☎045-242-1710
千葉支社	☎043-227-8171	埼玉支社	☎048-668-1177	東関東支社	☎028-637-3379
関越支社	☎0273-27-1793	甲信支社	☎0263-36-2166	名古屋支社	☎052-201-1717
静岡支社	☎054-251-1710	北陸支社	☎0762-64-1710	大阪支社	☎ 06-539-3500
京滋支社	☎075-222-1794	広島支社	☎082-223-1710	四国支社	☎0878-21-1701
福岡支社	☎092-282-3151	南九州支社	☎096-322-1794		

●ショールームとお客さま相談室のご案内

札幌――011-271-1710	青森――0177-74-2345	仙台――022-265-1710	郡山――0249-22-7503
水戸――029-227-1718	高崎――0273-25-1257	宇都宮―028-634-2133	大宮――048-651-1791
銀座――03-5250-6560	新宿L21―03-3340-1700	千葉――043-222-1701	横浜――045-242-9290
松本――0263-36-7410	岐阜――058-276-1711	静岡――054-251-1701	名古屋―052-201-1715
津――0592-26-1715	新潟――025-228-1701	金沢――0762-62-1701	京都――075-231-1716
奈良――0742-35-3894	大阪――06-539-4016	神戸――078-361-6680	岡山――086-222-0155
徳島――0886-26-1703	松山――089-931-5730	高松――0878-21-1782	広島――082-227-1701
松江――0852-31-6038	山口――0839-73-2424	福岡――092-471-1700	熊本――096-322-1894
鹿児島―099-227-1755			

東京お客さま相談室――03-5381-1799　　名古屋お客さま相談室――052-201-1733
大阪お客さま相談室――06-539-3504

取扱店（店名・住所・TEL）

取付日

年　　月　　日

GAW-0004(96113)

一般洋風便器

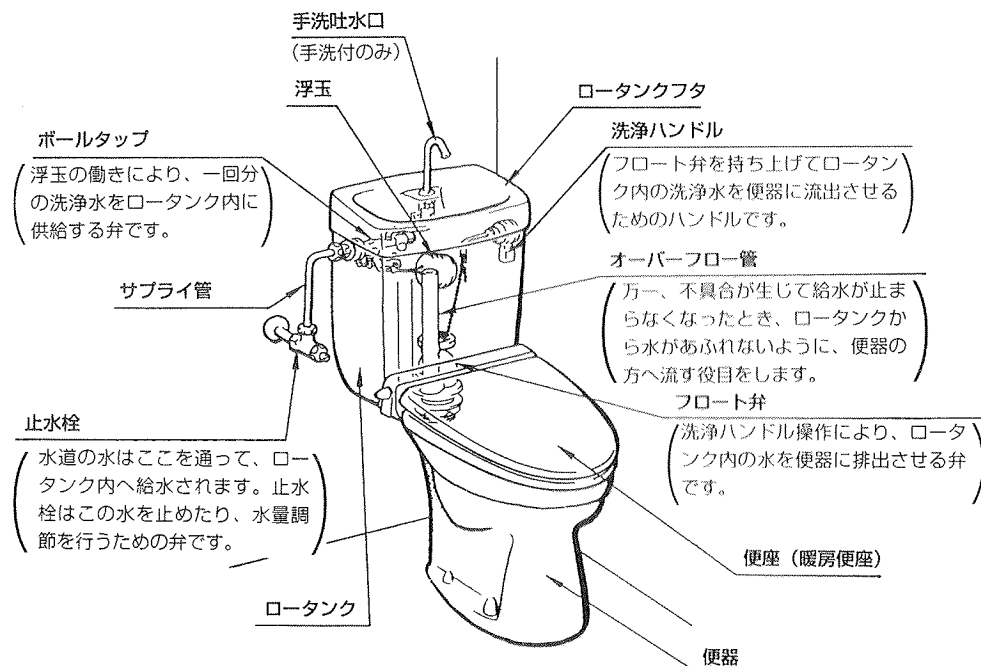
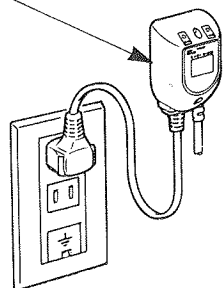
旧

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

もくじ

各部の名称と働き

安全上のご注意（お使いになる前に必ずお読みください。）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 ････ 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意 ････ 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

････ 「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

････ 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

････ 「分解してはいけません！」

････ 「バスルームやシャワールーム等の水場で使用してはいけません！」

････ 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

････ 「電源プラグをコンセントから抜きなさい！」

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、ヒーターコントローラー等の電気部品を絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
（ヒーター付便器の場合）

電源プラグやヒーターコントローラーを水につけたり、水をかけないでください。
※ ショート・感電の恐れがあります。
（ヒーター付便器の場合）

⚠ 注意

便フタやカバーの上に乗らないでください。
※ 破損してけがをすることがあります。

ヒーターやヒーターコントローラーが破損した場合、コンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。
※ そのまま使用するとショートや感電の原因となります。
（ヒーター付便器の場合）

電源プラグやヒーターコントローラーにトイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、トイレ用おそうじティッシュ、クレンザー、クレゾールを使用しないでください。
※樹脂が割れて感電・火災の原因となります。
（ヒーター付便器の場合）

⚠ 注意

バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では、使用しないでください。
※ 感電・火災の原因となります。
（ヒーター付便器の場合）

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりしないでください。
※ 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
（ヒーター付便器の場合）

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
※ 感電・ショート・発火の原因となります。
（ヒーター付便器の場合）

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※ 感電・ショート・発火の原因となります。
（ヒーター付便器の場合）

交流100V以外では使用しないでください。
※ 感電・火災の原因となります。
（ヒーター付便器の場合）

ロータンクや便器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。
※破損部でケガをすることがあります。早めに交換してください。

ご使用方法

便座については、便座の取扱説明書を必ずご覧ください。

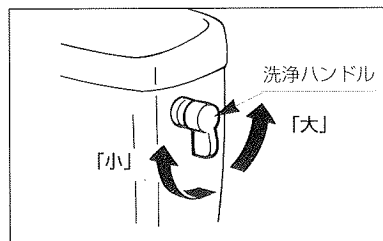
■便器鉢内の洗浄のしかた

洗浄ハンドルには便器タイプに応じて洗浄水量を大小切り替えるタイプとそうでないタイプがあります。

(1)大小切替表示がある場合

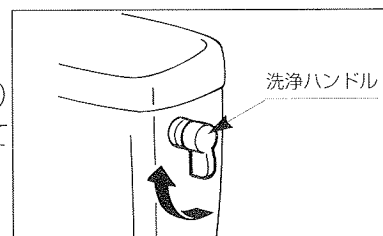
用便後、便器内を洗浄する（汚物を流す）場合、洗浄ハンドルを矢印の方向に回してください。

〈小〉：男性の小用の場合にお使いになると洗浄水が少なくてすみます。

〈大〉：上記以外の場合にお使いください。

注意

- 女性の小用の場合、〈小〉で使用されますと紙が流れない場合がありますので〈大〉の方でご使用ください。
- 〈小〉での便器内洗浄は、手を離すとすぐに止まります。便器内の汚物が完全に流れるまで洗浄ハンドルを持ち続けてください。
- 一回目の便器内洗浄から間をおかずに二回目を行うと洗浄ができない場合があります。このようなときはしばらく間を置いてから洗浄ハンドルを操作してください。

(2)大小切替表示がない場合

用便後、便器内を洗浄する（汚物を流す）場合、洗浄ハンドルを矢印の方向に回してください。

洗浄ハンドル

注意

- 一回目の便器内洗浄から間をおかずに二回目を行うと洗浄ができない場合があります。このようなときはしばらく間を置いてから洗浄ハンドルを操作してください。

ご使用上の注意

■安全のためにお守りください

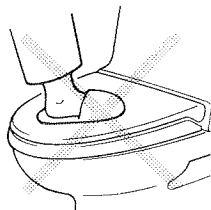
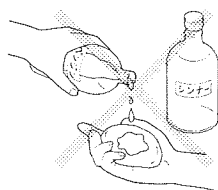
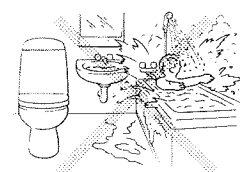
⚠警告

修理技術者以外の人は、ヒーターコントローラー等の電気部品を絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
（ヒーター付便器の場合）

電源プラグやヒーターコントローラーを水につけたり、水をかけないでください。
※ ショート・感電の恐れがあります。

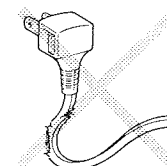
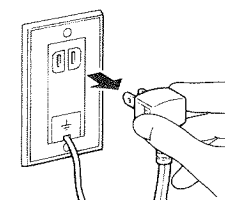
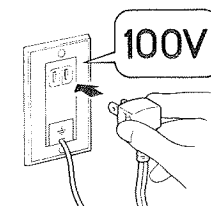
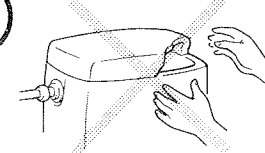
（ヒーター付便器の場合）

⚠注意

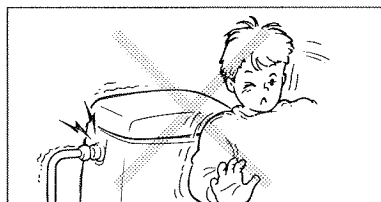
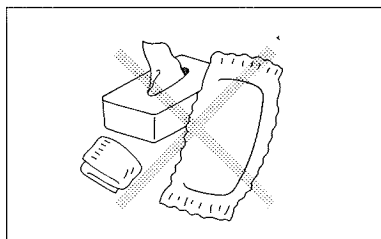
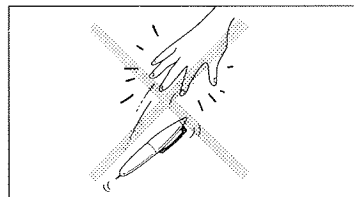
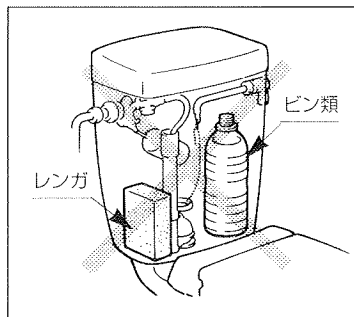
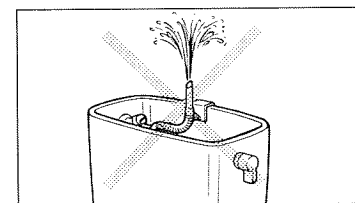
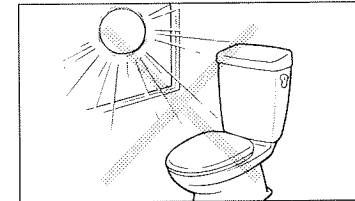
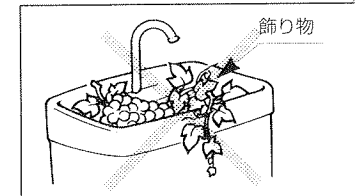
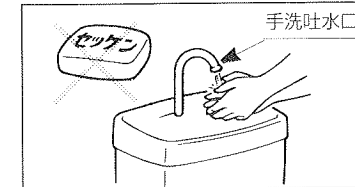
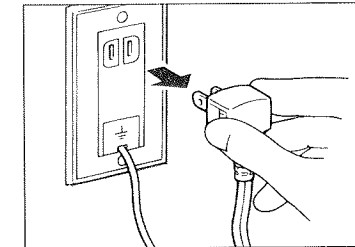
便フタやカバーの上に乗らないでください。
※ 破損してけがをすることがあります。

電源プラグやヒーターコントローラーにトイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、トイレ用おそうじティッシュ、クレンザー、クレゾールを使用しないでください。
※ 樹脂が割れて感電・火災の原因となります。
（ヒーター付便器の場合）

バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では、使用しないでください。
※ 感電・火災の原因となります。
（ヒーター付便器の場合）

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりしないでください。
※ 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
（ヒーター付便器の場合）

ヒーターやヒーターコントローラーが破損した場合、コンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。
※ そのまま使用するとショートや感電の原因となります。
（ヒーター付便器の場合）

⚠注意

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
※ 感電・ショート・発火の原因となります。
（ヒーター付便器の場合）

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※ 感電・ショート・発火の原因となります。
（ヒーター付便器の場合）

交流100V以外では使用しないでください。
※ 感電・火災の原因となります。
（ヒーター付便器の場合）

ロータンクや便器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。
※ 破損部でケガをすることがあります。
早めに交換してください。

■故障を起こさないために守ってください

注意

●ロータンクや便器に衝撃を与えないでください。また熱湯をそそがないでください。
※衝撃で破損したり、金具類が外れて漏水の原因になります。

●便器には、新聞紙、紙おむつ、生理用品等は流さないでください。
※便器が詰まり汚水があふれる原因になります。
必ずトイレットペーパーをご使用ください。

●クシ、ボールペン、歯ブラシ等を誤って便器鉢内に落とした場合は、水を流す前に必ず拾い出してください。
※便器が詰まり、汚水があふれる原因になります。

●節水のためにロータンク内にビンやレンガなどの異物を入れないでください。
※内部金具に干渉して故障を起こす場合があります。
※水量不足により、洗浄不良・便器詰まりを起こし汚水があふれる原因になります。

●手洗付の場合、ロータンクフタを外したままご使用にならないでください。
※手洗用の水が周囲に飛び散り、床や壁を汚します。

●直射日光に当たらないようにしてください。
※直射日光により樹脂部（便座・便フタなど）が変色することがあります。

●手洗付の場合、手洗鉢に飾り物を置かないでください。
※タンク内に落ちると内部金具に干渉して故障を起こす場合があります。

●手洗付の場合、手を洗うときは石けんなどを使わないでください。
※ロータンクの内部に石けんが入り、故障の原因になります。

●雷が発生しているときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
※コンセントから電源プラグを抜かないと雷の影響により故障の原因になります。
（ヒーター付便器の場合）

■結露の注意

室温と便器タンクの表面温度差や湿度により、便器・タンクの表面に水滴が生じることがあります（結露）。結露を防ぐためには、換気を十分にしてください。なお結露水が生じた場合は、乾いた布でふきとってください。
※結露水は床のしみや破損の原因になります。
※防露タンク、防露便器の場合は結露しにくい構造になっています。

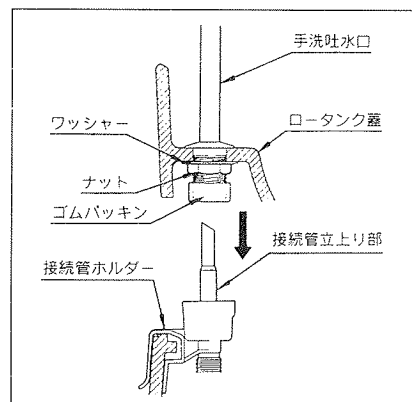
■KILAMIC抗菌商品についての注意

1. KILAMIC抗菌商品は表面に菌が付着したときに抗菌効果を発揮し、菌の働きによる汚れの生成を抑制します。ホコリ・油膜等が表面を覆った場合、この上に付着する菌に対しては充分な抗菌効果を発揮できません。
2. KILAMIC抗菌商品は菌の繁殖を抑制する効果を持ちますが、菌がまったくなくなるわけではありません。したがって、本商品により感染等が完全に防げるわけではありません。

■点検等のためロータンクフタを外した場合、止水栓を閉めて下記の要領でロータンクフタを載せてください。

1. ロータンクフタを載せる前の確認
   - 接続管ホルダーがロータンクに固定されている。
   - ゴムパッキンが手洗い吐水口下端ねじ部にはまっている。
2. ロータンクフタを載せる時の確認
   - 接続管立上がり部を手洗い吐水口下端に確実に差し込む。
   - ゴムパッキンが手洗い吐水口下端ねじ部にはまっている。

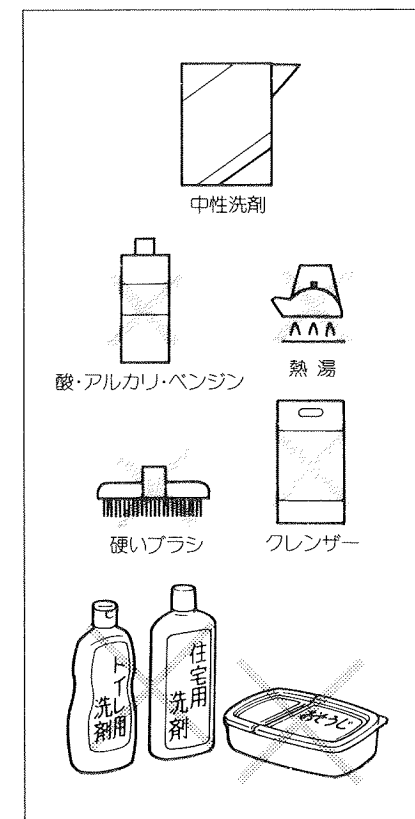
※ロータンクフタが浮き、ぐらつく場合は接続不十分ですので再度、差し込み直してください。

3. 洗浄ハンドルを作動させて接続部の漏水のないことを確認する。

お手入れ方法

便器や付属金具、便座はお手入れせずに放置しておきますと、光沢を失うばかりでなく、部品によっては、使用に不具合を生じることにもなりかねません。常日頃からこまめにお手入れをしてください。

なお、クレンザー、磨き粉は表面を傷つけますのでお使いにならないでください。

■便座・便フタ等のお手入れ（樹脂部）

- 便座、便フタ等は樹脂製です。柔らかい布でからぶきをしてください。
- 頑固な汚れは、食器用中性洗剤を薄めた液（100倍程度）を布に付け、固く絞ってからふいてください。
  汚れが落ちたら水道水を湿らせた布でふきとり、最後に柔らかい布でからぶきしてください。
  ※シャワートイレお掃除クリーナー（CWA-20）もご使用になれます。
  最寄りの取扱店、INAXショールームや全国有名スーパー、大手家電量販店でもお求めになれます。宅配サービスもご利用できますので、当社支社やお客さま相談室等へお問い合わせください。
- 便座の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。
  - 中性洗剤以外の洗剤、熱湯
  - 酸、アルカリ、ベンジン
  - トイレ用ウェットティッシュ
  - クレンザー、磨き粉
  - シンナー、ガソリン
  - たわし、硬いブラシ、硬い布

●ヒーター付便器の場合、特に次のことに注意してください。

注意

お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠警告

電源プラグやヒーターコントローラーを水につけたり、水をかけないでください。

※ ショート・感電の恐れがあります。

（ヒーター付便器の場合）

⚠注意

電源プラグやヒーターコントローラーにトイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、トイレ用おそうじティッシュ、クレンザー、クレゾールを使用しないでください。

※樹脂が割れて感電・火災の原因となります。

（ヒーター付便器の場合）

■便器のお手入れ（陶器部）

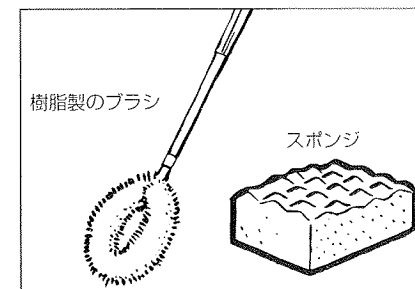
樹脂製のブラシやスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯で洗ってください。

注意

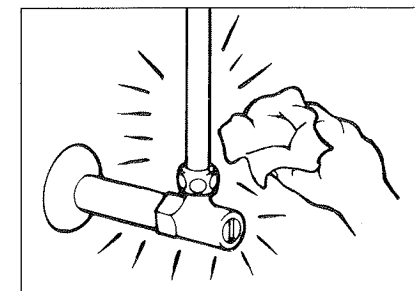
●熱湯はお使いにならないでください。

※便器が破損することがあります。

●ガラス質を侵すフッ素化合物入の洗剤はお使いにならないでください。

※表面が侵されます。

■止水栓・サプライ管のお手入れ（メッキ部）

●汚れは乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは水ぶきし、最後にからぶきしてください。

●月に一度くらいミシン油やカーワックスを染み込ませた布でふくと、輝きを保てます。

注意

壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄して、メッキ部に酸等が付着した場合は、十分水洗いしてください。

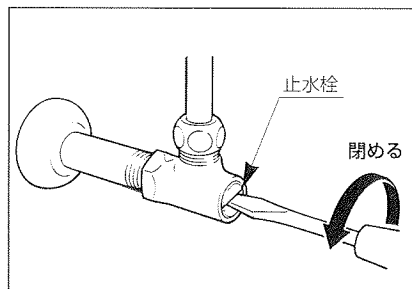
※酸性洗剤はメッキを侵します。

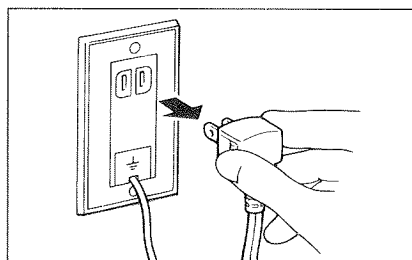
●表面をキズつける恐れがある以下のものは使用しないでください。

- ●クレンザー、磨き粉等の粒子の粗い洗剤
- ●ナイロンたわし、ブラシ等
- ●酸性洗剤、塩素系漂白剤
- ●シンナー、ベンジン等の溶剤

長期間使用しない場合

旅行等で長い間使用しないときは万一の故障のために以下の操作を行ってください。

1. 止水栓をマイナスドライバーで操作して、ロータンクへの給水を止めます。
   このとき最初の位置をマークしておいてください。止水栓は調節してありますので再使用時、元の位置に戻す必要があります。
   水抜式便器をお使いの方は水抜栓を操作してロータンクへの給水を止めます。
   ※万一の故障にも漏水せず安心です。

2. 凍結の恐れがある地域では凍結破損防止のため洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を完全に抜きます。ただし便器トラップ内の溜水は排出できませんので、溜水を汲み出す等の処置が必要です。
   ※水抜式便器の場合は16ページを参照してください。
   ※水抜式便器以外の場合は、洗浄ハンドルをしばらく回したままにしてロータンク内の水を完全に抜いてください。

3. コンセントから電源プラグを抜いてください。
   ※万一の故障にも安心です。

冬期凍結の恐れがある場合

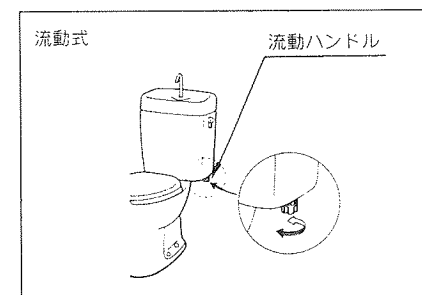
冬期凍結の恐れがある場合は、以下の処置を行ってください。
※凍結した場合、ロータンクや便器が破損する原因になります。

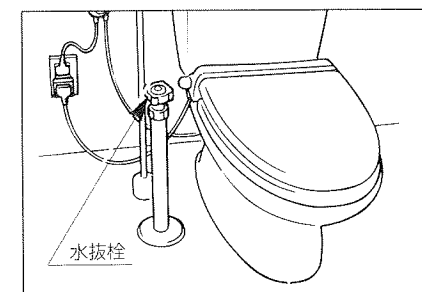
■ 凍結防止方法

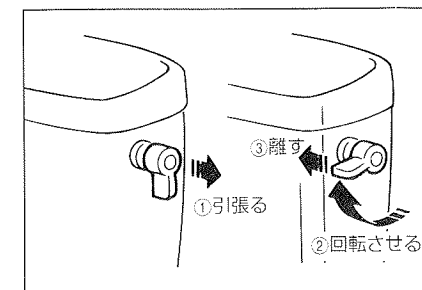
●標準式便器の場合

室内を暖房して、ロータンク内や便器内の溜水を凍結させないようにしてください。

●流動式便器の場合

流動ハンドルを全開にしてください。
ロータンク内の水が絶えず便器鉢内に放流され、凍結を防止します。

●水抜式便器の場合

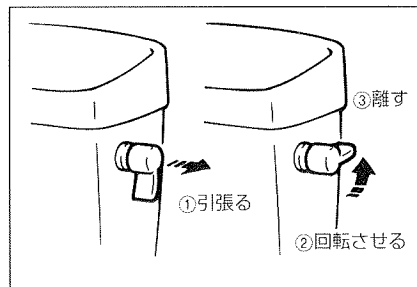
1. 室内を暖房し、水抜栓を操作してロータンクへの給水を止めてください。
   (ヒーター水抜併用方式便器の場合は室内暖房の必要はありません。)
2. 洗浄ハンドルを操作してロータンク内、配管内の水を抜いてください。
   便器タイプにより２通りあります。

〔大小切替表示がある場合〕

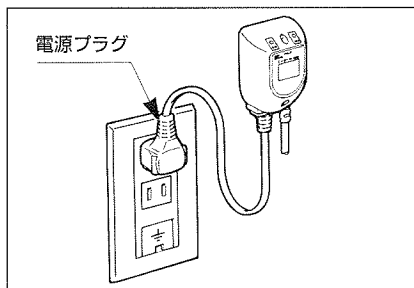
①洗浄ハンドルを横に引張ります。
②手前に回します。
③洗浄ハンドルが水平になったら手を離します。
④洗浄ハンドルが水平にロックされていることを確認します。

〔大小切替表示がない場合〕

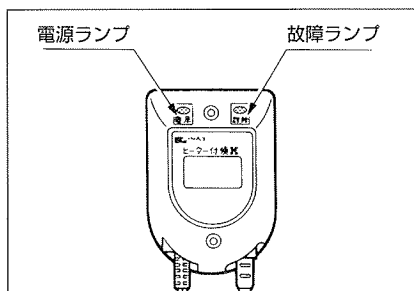
①洗浄ハンドルを横に引張ります。

②奥に回します。

③洗浄ハンドルが水平になったら手を離します。

④洗浄ハンドルが水平にロックされていることを確認します。

●ヒーター付便器の場合

ヒーターの電源プラグをコンセントに差し込みます。このとき電源ランプが点灯、故障ランプが消灯していることを確認してください。

注意

故障ランプが点灯したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、取扱店または当社支社やお客さま相談室へ連絡してください。

■トイレ内の使用限界温度について

凍結防止をしていただいても、下記条件からはずれると凍結する恐れがありますのでご注意ください。

●流動式便器の場合………－10℃以上

●ヒーター水抜併用式便器の場合………－15℃以上

●上記以外の便器………0℃以上

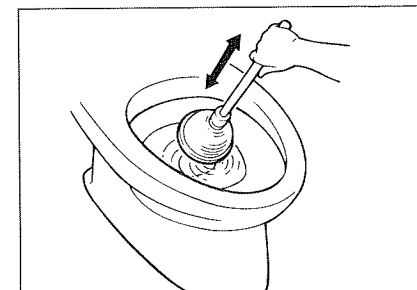
※環境条件により使用限界温度が変わることがあります。

修理を依頼される前に

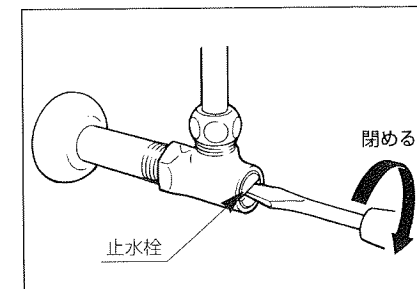
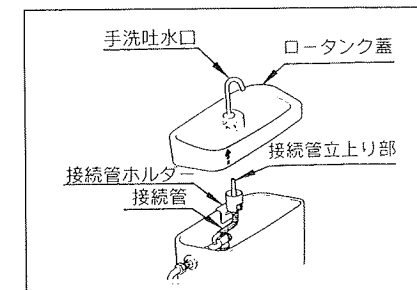
簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

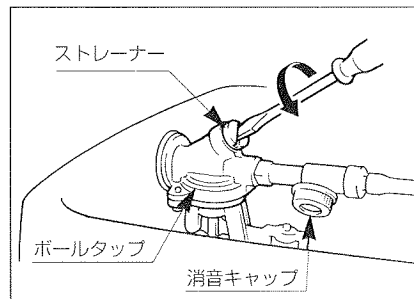
■便器が詰まった場合

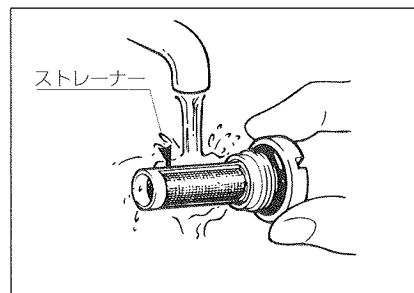
市販のラバーカップを使用し、次の要領で詰まりを取り除いてください。

便器の排水口をふさぐように、ラバーカップを静かに押し付け、勢いよく手前に引いたり押したりを数度繰り返してください。このとき、透明なビニールでカバーしておくと汚水の飛び散りを防ぐことができます。

■ロータンクへの給水時間が長くなった場合

ストレーナーのゴミ詰まりが原因と思われますので、以下の手順でストレーナーのゴミを取り除いてください。

1. 止水栓をマイナスドライバー等で右に回して閉めます。
   このとき、最初の位置を覚えてください。
   止水栓は調節してありますので作業終了後、元の位置に戻す必要があります。

2. ロータンクフタを持ち上げて外します。
   手洗付の場合、接続管ホルダーがロータンクから外れることがありますので、接続管を手洗吐水口から抜き、接続管ホルダーをロータンク後側のヘリに差し込み、固定します。

3. ボールタップのストレーナーをマイナスドライバー等で左に回して外します。

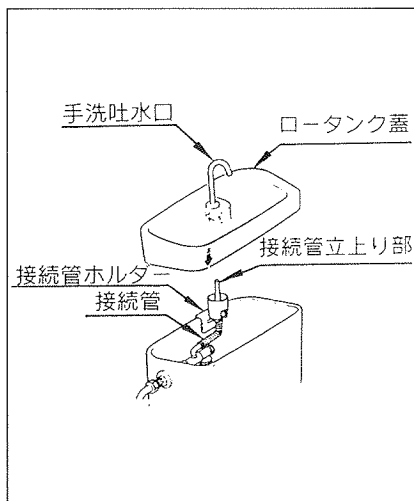
※消音式の場合、消音キャップも外してください。

4. ストレーナーを水洗いしてゴミを取り除きます。

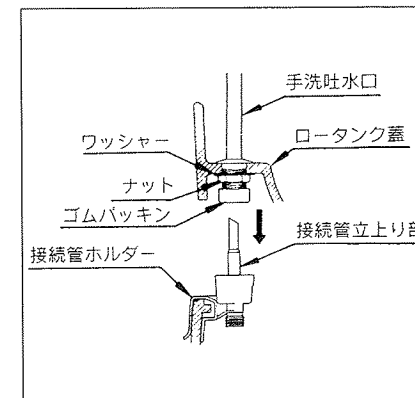
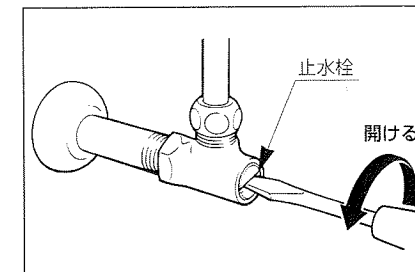
※消音式の場合、消音キャップのゴミも取り除きます。

5. ストレーナーをしっかりと取り付けます。

6. ロータンクフタをロータンクに取り付けます。

手洗付は、下記の要領でロータンクフタを載せます。

(1) ロータンクフタを載せる前に次のことを確認します。

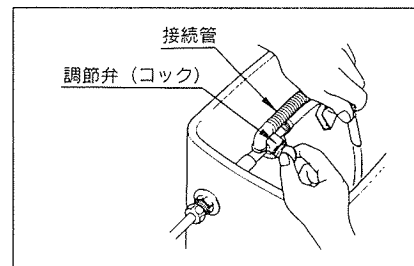
- 接続管ホルダーがロータンクに固定されている。
- ゴムパッキンが手洗吐水口の下のねじ部（ロータンクフタ裏側）にはまっている。

(2) 接続管立上り部を手洗吐水口のゴムパッキン内に確実に差し込みます。

※ロータンクフタが浮いていたり、ぐらつく場合は接続不十分ですので再度、差し込み直してください。

7. 止水栓をマイナスドライバー等で左に回して開けます。このとき最初の位置に戻してください。

8. 給水時間が短くなったことを確認します。

※手洗付の場合、手洗吐水口から水が出ていることを確認してください。
水が出ていないときは再度ロータンクフタを確実に取り付けてください。

■手洗吐水量が少ない場合

〔調節機構のあるタイプ〕

手洗吐水量調節ねじを回転させて適量に調節します。

■ロータンクまたは便器下部に水滴がついた場合

結露により水滴が付く場合があります。
乾いた布でこまめにふきとってください。（☞11ページ）

※上記処置で故障が直らない場合は、お求めの取扱店またはお近くの当社支社やお客さま相談室へご相談ください。

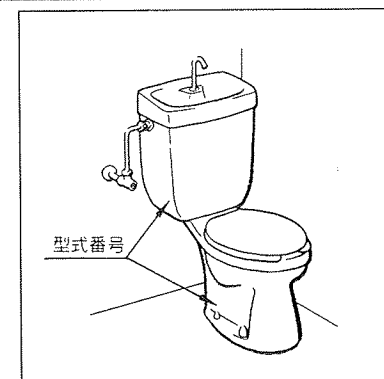
アフターサービスについて

●より安全にご使用いただくために、次の場合は必ずお求めの取扱店またはお近くの当社支社・営業所・お客さま相談室に修理依頼、またはご相談ください。
● "取扱説明書" を確認されても、まだご不明な点や異常があるとき
●コードの傷みやコンセントのガタツキ
●コンセントや電源プラグ、コードの過熱

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
（ヒーター付便器の場合）

[連絡していただきたい内容]
- おなまえ・おところ・電話番号
- 商品名・型式番号・取付年月日
- 故障内容・故障の状況
- 訪問希望日

このときに右図を参考にして型式番号を確認し、ご連絡ください。

ヒーター付便器には、保証書が付いています。
- 保証書は必ず記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は取付日より1ヶ年です。

※保証期間内は保証書の規定にしたがって修理させていただきます。
※保証期間が過ぎているときは、修理によって機能が維持できる場合、お客様のご要望により有料修理致します。補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6ヶ年です。
補修用性能部品とは商品の機能を維持するために必要な部品です。

●アフターサービス等についてご不明な点がありましたら、取扱店または当社支社やお客さま相談室（連絡先は裏表紙に記載）へお問い合わせください。